

事務事業名		塩谷町赤ちゃん誕生祝金事業				<input checked="" type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	安全安心な暮らしを支えるまちづくり				所属課	保健福祉課	担当	福祉担当
	施策名	子育て支援の充実				課長名	伴瀬悦朗	担当者名	鈴木啓市
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・(新規制定)塩谷町赤ちゃん誕生祝金条例、規則	
		1	3	2	1	1	児童福祉管理費		
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 25 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)			
事務事業の概要(事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 本町で出生した子どもとその保護者を祝うとともに、少子化への歯止め策として「誕生祝い金」制度を創設する。 なお、本町の出生数の低下は単に子供を産む方が減ってきているという(全国の出生率1.4)問題だけでなく、若者の就労の場の問題や公共交通事情、さらに生活環境などが含まれており、この制度の創設によって解消(平成10年以前の出生数100人程度までの回復)するといった保証とはならない。 ※同様の制度は他市町でも実施されている。 ※今回の制度の創設は「きっかけ」とし、今後少子化への本格的な対応策を図っていく必要がある。</p> <p>【参考】 H23年度出生数:52名</p> <p>2 概算事業費 H25年度/20,000円×70名分=1,400,000円 ※財源については諸政策を見直し、児童福祉管理費(子育て支援費)へ充てることで確保可能</p>							

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等) 子どもの出生を祝うとともに、子育て支援の一助とする。 20,000円×出生数		名称	単位
		ア 誕生祝い金の額(1人当たり)	円
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載) この町の住民として出生する子どもと保護者(家族)		名称	単位
		ア 推計出生数	人
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのかを記載) この町の出生率(合計特殊出生率)が上がり、年間の出生数が100人程度まで回復する。		名称	単位
		ア 推計出生数からの上昇率	%
		イ 合計特殊出生率	人

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 実績値	円	20,000	20,000	20,000	20,000	30,000
	イ	目標値 実績値	0					
対象指標	ア	目標値 実績値	人	60	70	70	70	70
	イ	目標値 実績値	0		57			
成果指標	ア	目標値 実績値	%	100	110	115	115	120
	イ	目標値 実績値	人	1.37	1.40	1.45	1.45	1.50

計画		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度	
事業費 投入量	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	0	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800
	事業費計(A)	千円	0	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	180	180	180	180	180	
	人件費計(B)	千円	720	720	720	720	720	
トータルコスト(A)+(B)		千円	720	2,120	2,220	2,320	2,420	1,800

実績		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
事業費 投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円		1,140			
	事業費計(A)	千円	0	1,140	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人		1			
	延べ業務時間	時間		150			
	人件費計(B)	千円	0	600	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	1,740	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	少子化対策は急務であり、子育て支援策を打ち立てることにより町の活性化を図る事業であり、公共関与は妥当である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり	少子化対策は急務であり、子育て支援策を打ち立てることにより町の活性化を図る事業であり、公共関与は妥当である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	町の出生率(1.37)の低下に歯止めをかけ、子育て支援の一助とする事業であり、着手、実施は必要 ※県平均(1.42)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり	町の出生率(1.37)の低下に歯止めをかけ、子育て支援の一助とする事業であり、着手、実施は必要 ※県平均(1.42)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	新規事業であり、1人当たりの「祝金」の額は低額に抑えている。 なお、この事業の財源は高齢者の敬老費を活用することで、トータルコストを抑制している。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり	1人当たりの「祝金」の額は低額に抑えている。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	「祝金」であり、受益負担はないが、町全体としての少子化対策への事業であり、1人当たりの額を考慮しても公平性は保たれると考えられる。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり	「祝金」であり、受益負担はないが、町全体としての少子化対策への事業であり、1人当たりの額を考慮しても公平性は保たれると考えられる。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 24 年 11 月 1 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 26 年 7 月 1 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	ここ数年、出生数も50人程度で推移している、少子化対策・子育て支援策に一定の成果が得られた。
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評 出生数増への直接的な効果は認められないが、当事業をきっかけとして、今後の様々な対応策の足かりになるものと考えられる。継続的に実施することが望ましい。	(3) 指示事項 事後評価は、今回で終了とする。 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業